

景況レポート

No. 153

2025年10月～12月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1
電話(代) 0157-24-7531
URL: <https://www.shinkin.co.jp/kitami/>
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が12月15日に発表した12月の企業短期経済観測調査結果（短観）によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数（D I：「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）は全産業で『15』となり、前回の調査『14』から改善しました。内訳では、製造業（前回4→今回8）は改善、非製造業（前回16→今回16）は横ばいでした。2026年3月までの全産業での先行き予測は10と、悪化の見通しです。

また11月28日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、堅調に推移している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、緩やかに増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

【公共投資】 高水準で推移している。

【個人消費】 百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、堅調に推移している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。サービス消費は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに増加している。

【観光】 堅調に推移している。

【新設住宅着工戸数】 持家、貸家は、弱めの動きとなっている。分譲は、下げ止まりの兆しがみられている。

【生産（鉱工業生産）】 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、弱含んでいる。金属製品は、持ち直しの兆しがみられている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。

【雇用・所得情勢】 緩やかに改善している。

【消費者物価（除く生鮮食品）】 前年比3%程度のプラスとなっている。

【企業倒産】 横ばい圏内の動きとなっている。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したD I値は、売上高が▲9と10ポイントの改善、収益は▲14と8ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上D I値は▲29と20ポイント悪化、収益D I値は▲29と16ポイント悪化の見通しとなっています。